

ヘルスサイエンスセンター島根の脳ドックを受診された方へ

2020年8月28日

島根大学疾病予知予防プロジェクトセンターでは、ヘルスサイエンスセンター島根の脳ドック受診時に「脳ドックデータ・試料を用いた包括的疫学研究」（以下：包括的疫学研究）への参加を同意された方の試料・データを用いて生活習慣病に関する研究「生活習慣病の予知予防に関するゲノム疫学研究」を行っています。

### 【研究の目的】

私どもは、来たるべき高齢化社会を見据えて、より健康で長生きできるよう、すなわち健康寿命を延伸するべく、生活習慣病の予知予防に必要な因子を解明する研究を行っています。本研究では特定健診や職域での健診で得られた臨床情報と、健診受診者の居住地もしくは勤務地といった地理情報を利用し、生活習慣病を有している人の割合や病気の状態、治療状況等について島根県内の地域間での比較を行い、生活習慣病の予防へと結びつけることを目的としています。

### 【対象となる方】

ヘルスサイエンスセンター島根にて脳ドックを受診され、平成28年5月以降に「脳ドックデータ・試料を用いた包括的疫学研究」（以下：包括的疫学研究）への参加を同意された方。

### 【研究期間】

2026年3月末まで。

### 【研究の方法】

脳ドックデータに含まれる、生活習慣病の治療状況、脳ドックにて行われた検査データを用いて疾患の原因となる要素の因果関係を調べます。また疾患に関連する遺伝子を特定するための分析を行います。

## 【個人情報取り扱い】

脳ドックで得られた各種データ（遺伝子情報を除く）は、ヘルスサイエンスセンター島根にあるサーバーに保存されます。このサーバー内のデータベースは外部からアクセスできず、パスワードによって使用可能な研究者を制限されています。研究に用いるすべての血液サンプルや検査データ、DNAからお名前、住所など個人を特定できる情報ははずし、暗証番号を付けて用います。お名前とこの暗証番号との対照表は、大学の担当者が作成し、金庫内で厳重に保管します（このような「対照表」を作るやり方を「匿名化」といいます）。したがって、研究者は個人情報に触れませんし個人情報がもれることもありません。

この研究は島根大学医学部医の倫理委員会の承認を受けております。また文部科学省、厚生労働省及び経済産業省が制定した「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」並びに文部科学省及び厚生労働省が制定した「疫学研究に関する倫理指針」に基づき、既に他の研究で収集され、匿名化した健診データを研究に用いますので、本研究について口頭による説明・同意等、インフォームド・コンセントの手続は省略いたします。

もしご自身の健診データを研究に使用して欲しくない場合はデータを削除いたしますので、下記問合せ先までご連絡ください。

## 【問い合わせ先】

研究責任者：

並河 徹（なびか とおる） / 職名：教授

島根大学医学部 病態病理学

島根大学疾病予知予防プロジェクトセンター

電話番号：0853-20-2586